

****年度 地質調査技士資格検定試験 受験願書

受験地は願書受理後に変更できません。
※印欄 予定を十分に確認の上、選択して下さい。

技術・管理部門

受験地	福岡	地区協会 理事長印	※	受験 番号	※ 現場技術・管理部門						
私は地質調査技士資格検定試験を受験いたしたく地質調査 に基づき写真及び関係書類を添えて申し込みます。 ****年 4月 21日 氏名 地質 太郎 一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿											
1. 氏名	ふりがな ちしつ たろう 地質 太郎	男 女	年令 34才	試験日で 昭和 平成 令和	00年00月00日生						
2. 現住所 電話番号	(〒123-4567) 熊本 都道 府県 玉名郡 和水町大田黒 0-0-0 電話番号1:(01) 2345 - 6789 電話番号2(本人以外):(090) 1234 - 5678 続柄(母)	※電話番号1・2とも必ず記入して下さい									
3. 所属機関 (現在所属している会社について記入して下さい)											
名称	国土交通コンサルタント株式会社 玉名支社 ※直接に雇用契約を結ぶ会社について記入して下さい(いわゆる親会社の記入は不可)	登録 番号	(地質調査業者登録をしている場合) 質 20-1234								
住所	(〒123-5678) 熊本県玉名市岩崎1-100-0	電話	(123) 456-7890								
4. 学歴 (最終学歴を記入して下さい)											
学校名 学部 学科名等	筑波大学 大学院 工学研究科	卒業年月 昭和・平成・令和 00年00月 卒									
※最終学歴が大学院、または、学校教育法における学校(中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校等)以外の場合、最終学歴の一つ前の学歴も記入して下さい。	学校名 学部 学科名等 筑波大学 工学部 土木工学科	卒業年月 昭和・平成・令和 00年00月 卒									
5. 実務経験	※受験手引き2ページの「必要な実務経験年数表」を確認の上、該当する経験年数に○をつけて下さい。										
	a	b	c	d	e	f	g	h	x	y	z
6. 受験料振込	振込手続日 4月22日 振込依頼人名 国土交通コンサルタント(株) (受験者名と異なる場合、記入して下さい)										

- ・受験の手引き(2ページ~)をよく確認の上、記入して下さい(※印欄は記入しないこと)。
- ・卒業年月や勤務経歴などでの暦の記入は、各項目で指定する和暦または西暦に従い記入して下さい。
- ・「5. 実務経験」は受験資格に関わる大切な項目です。必ず手引きを確認の上、正しく選択して下さい。

7. 勤務経歴				
期間 (和暦)	勤務先名 (部課名まで記入して下さい)	業務の内容		
H28年 4月 1日から H31年 8月 31日まで	和水ボーリング株式会社 工務部	現場調査・管理		
H31年 9月 1日から 年 月 日まで	国土交通コンサルタント株式会社 玉名支社 技術部	現場管理・技術管理他		
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
8. 講習会 (研修) 受講調べ				
受講期間 (和暦)	受講場所	修了書番号		
R5年 6月 10日から 2日間	検定試験事前講習会 エレキホール博多	101番		
R6年 6月 11日から 2日間	検定試験事前講習会 霞会館	受講予定		
年 月 日から 日間		受講調べに記入する講習会は、受験の手引きに記載する対象講習会のみです。		
年 月 日から 日間				
年 月 日から 日間				
9. 実務経歴				
調査期間(和暦)	〇囲み	発注者(上段)及び調査名(下段)	所属機関名(会社名)	
H28年 5月 から 40日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	熊本県 熊本港地盤沈下観測調査	和水ボーリング(株)	
H29年 2月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	住宅土地開発公社 宅地造成整備事業地質調査	同上	
H29年 5月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	大分県農林開発事務所 ふるさと林道整備事業峰線法面調査設計	同上	
H29年 6月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	日本帝国道路公団 鹿 八代工区地質調査	実務経歴 記入のポイント ・新しい年次を中心に4～5件/年程度を目安に記入。 ・なお、実務経験年数が長く、願書に書ききれない場合、新しい年次の経歴は2～4件/年程度とするなどし、古い年次の経歴は最低1件/年を記入する。 ※新しい年次の経歴の記入が少ない場合、申告の実務経歴年数を減じた上で受験資格を満たすかを判断します。	
H29年 11月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	熊本県教育委員会 県立京徳小学校新築		
H30年 5月 から 50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	宇城市土木局 266号線三角大矢野橋梁取付部地質調査		
H30年 8月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	宮崎県警察本部 延岡南警察署敷地造成工事にともなう地質調査		
				同上
				同上
				同上

H30年9月 から60日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	志布志港工事事務所 志布志港高潮対策工事地質調査	和水ボーリング(株)
H31年6月 から50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	大都市基盤整備公団 博多新港地区地盤調査	同上
H31年9月 から90日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	重油エンジニアリング(株) 宮崎東石油基地タンク沈下測定業務	国土交通コンサルタント(株)
H31年12月 から50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 耶馬溪河川事務所 山国川高規格堤防土質調査	同上
R2年4月 から20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	JR中央九州 高森-高千穂トンネル大出水対策地質調査	同上
R2年8月 から50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省九州地方整備局 赤川ダムサイト地質調査	同上
R2年10月 から100日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	福岡県県土整備局 苅田港埋立地質調査	件名が工事名や設計名の場合、実施した地質調査業務の内容を、以下の記入例を参考に書き加えてください。
R3年5月 から60日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	九州地方整備局 鶴亀山トンネル第4工区工事(切羽前方探査を実施した)	同上
R3年9月 から110日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北九州電力株式会社 八丁原野発電所5号機新設工事(ボ-リング調査、孔内探査など実施)	同上
R4年1月 から50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	長崎県弾丸列車対策部 大村湾弾丸列車トンネル地質調査	同上
R4年5月 から40日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	熊本県天草広域振興局 御所浦島白亜紀層地質調査	同上
R4年8月 から30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	南東阿蘇鐵道 幹線基礎耐震補強工事(ボ-リング調査、孔内水平載荷試験など)	同上
R4年10月 から70日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	対馬市農林部水産課 久須保地区漁礁基礎地質調査	同上
R5年1月 から50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	佐賀県森林整備部 さかの森林整備地質調査	同上
R5年4月 から80日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	熊本県 漁業漁場整備局 倉江川拡幅事業地質調査	同上
R5年7月 から90日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	福岡県建築都市局 多々良川水道処理施設地質調査	同上
R5年10月 から50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	全国電信電話施設株式会社 8号幹線鉄塔地質調査(その3)	同上
R6年3月 から20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	宮崎県環境森林局 臼杵郡諸塚地すべり調査	同上

土質試験室や宅地等サウンディングは実務経験年数に含むことはできません。
受験手続き（6ページ④）を参照してください。

※受験番号 現場技術管理部門

10. 実務経験年数	満 8年 1ヵ月	※	満 年 ヵ月
11. 主として 従事した業務 (○で囲んで下さい)	[現場管理] [技術管理] [調査・計測・試験] [同結果の評価考察] [柱状図及び断面図の作成] [報告書の作成] [報告書の照査] その他 (
12. 地質調査技士 登録番号	第10001号 (当初登録年月日(西暦)2018年10月 1日)		

地質調査技士の資格を保有されている方（今回受験する以外の部門を保有の方）は、登録番号を記入してください。

令和6年度地質調査技士資格検定試験 実務経歴証明チェックリスト

(証明者の方へ)

- ・証明者は原則として代表取締役等の代表者となります。ただし、その代理として受験申込者の人事権を有する方（人事部長、支店長等）も証明者として認められます。
- ・以前勤務していた会社等の実務経歴も含め、現在の勤務先の代表者等の証明とします。この場合は、以前の実務経歴について内容等を十分に確認してください。

(受験申込者の方へ)

- ・転職等により、複数の組織に所属していた場合は、当時の勤務先の証明をすべて取り付けることを原則とします。その場合、本チェックリストをコピーし使用してください。

(受験申込者自身が代表者（経営者）の場合)

- ・役職名欄には、自身が代表者であることがわかるよう、必ず「代表者」と記入してください。
- ・証明者との関係欄には「本人」と記入してください。

次の（受験申込者）の実務経歴について、チェックリストを確認し、記載に間違いがないことを証明します。

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿

令和6年 ○月 ○日

(証明者) ※本欄は社判の押印でも可

(受験申込者)

会社名又は業務名 国土交通コンサルタント株式会社

氏 名 地質 太郎

〒123-4567
所在地 熊本県玉名市岩崎1-100-0

生年月日 ○○年○○月○○日

役職名 代表取締役社長

〒123-5678
現住所 熊本県玉名郡和水町大田黒0-0-0

氏 名 全国 二郎

証明者との関係 社長と社員

項番	本人 チェック	証明者 チェック	項目
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受験願書「9.実務経歴」に記載された実務経歴の内容は、下表Aの「記入する主な実務経歴の内容」に間違いがない。
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受験願書「9.実務経歴」に記載された実務経歴の調査期間は、受験者が実際に業務に従事した期間が正しく記載されている。
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受験願書「10.実務経験年数」に記載された内容に間違いがない。
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(証明者が過去の勤務先の実務経歴や調査期間などを証明する場合) 上記の項番1,2,3に含まれる過去の勤務先の実務経歴などについても間違いがない。

表A

受験する部門	記入する主な実務経歴の内容
現場調査部門	地質調査を目的としたボーリング機器等の操作に関する実務経歴
現場技術・管理部門	地質調査を目的とした調査・計測業務、現場技術管理業務等に関する実務経歴